

戦後70年
被爆70年

過ちは
二度とくり返さない！



原水爆禁止2015年世界大会・長崎で「ええじゃないかコール」をする大阪の代表団（8月9日）



8月8日の「第38回自治体労働者平和のつどい」で「NPT再検討会議」ニューヨーク行動の報告をする門真市職労の服部さん（左）と富田林市職労の中嶋さん（右）

「戦争法案」が参議院で審議されています。国会ではこの法案に反対して連日国会周辺を包囲するパレード・集会が行われ、その声は全国・地域へすみずみに広がっています。

広島・長崎で原水爆禁止2015年世界大会が開催されました。海外代表からは、「戦争法案」反対の賛同とともに核兵器廃絶を願う世界の流れに逆行する安倍首相の姿勢に大きな批判が集中しました。（2・3面に関連記事）



戦争法案は廃案に！おおさか1万人大集会で大阪市内をパレード(7月18日)

つづぞう「戦争法案」 なくぞう核兵器

フレッシュな気持ちでがんばります
「憲法が生きる地方自治」を

東大阪市職員労働組合

中央執行委員長 先山 進一さん
(固定資産税課)

9月27日の東大阪市長選挙にむけて、3たび革新民主市政を実現しようと、猛暑の中で連日奮闘している東大阪市職員の仲間たち。その新委員長に就任した先山進一さんにお話をうかがいました。



9月の市長選挙でご支援を！

「戦争法案」廃案と 市政転換へ

6月の市職労役員選挙で、執行委員長に選出されました。1997年9月から6年、大阪自治労連の専従として活動しました。そして、職場復帰して12年になります。今回、定年を迎えた前委員長からバトンタッチし、「戦争法案」廃案や市政転換・組合員要求実現など単組運動の先頭に立つてがんばります。よろしくお願ひします。職場は固定資産税課。趣味は国内の世界遺産めぐり。休日の朝は、妻と買い物。午後は組合事務所での活動かな？

トップダウンの 市政に終止符を！

さて、市職労では今、日本を「戦争する国づくり」にさせないたかいかいとともに自らの要求と労働者・地域住民の要求実現めざし市長選挙勝利へたたかいます。

現市長は、安倍・橋下政治と瓜二つで、市民の声を聞かずトップダウンの市政運営をすすめています。

ワールドカップを開催する花園ラグビー場の改修は、当初の36億円の予算が132億円に膨張。24億円だった上下水道庁舎の新築予算は50億円ともいわれ、「市の負担なし」だったモノレールの東大阪延伸は、松井知事との会談で突然「70億円の地元負担」に。市民の知らぬ間に、新国立競技場と同様の事態になっています。

さらには、公立保育所・幼稚園は全廃し認定こども園化を計画。学童保育には民間企業2社を参入させ、図書館や新市民会館建設など公共施設も窓口業務も民営化を推進する姿勢をとっています。

市職労は7月12日の定期大会で、浜正幸さんを市長候補として推薦決定し、民主市政の実現に全力を挙げます。大阪自治労連のみなさんの大きなご支援をお願いいたします。